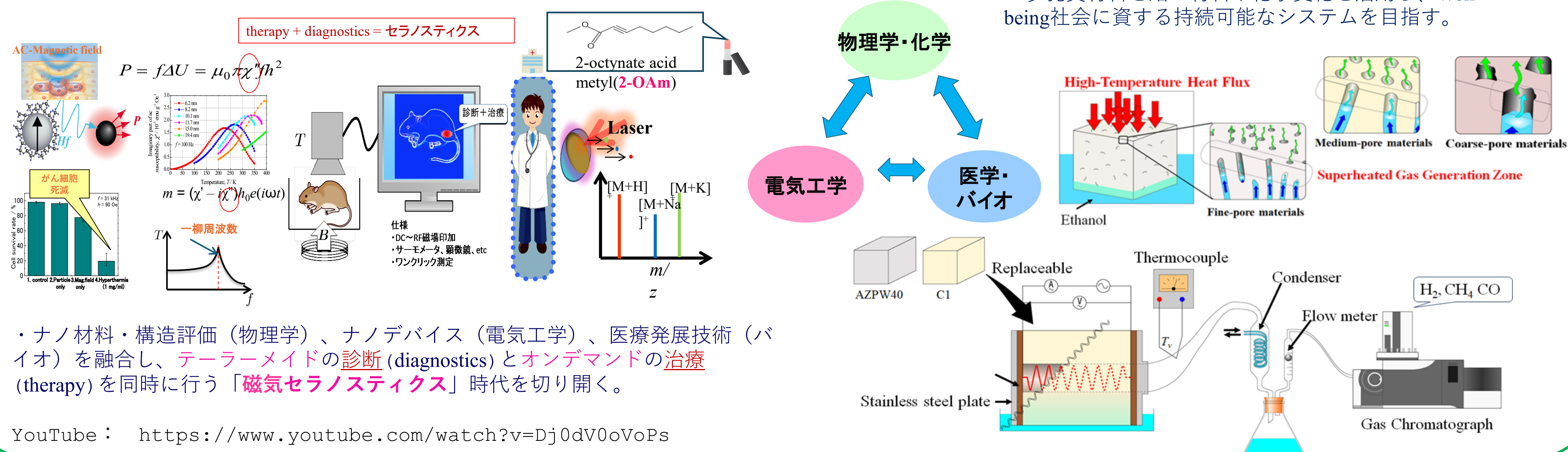


ナノ物性物理と バイオの融合研究拠点

メンバー

拠点長： 一柳優子（物理・教授）、吉川信行（電情・教授 副代表）
 島津佳弘（物理・准教授）、飯島一智（バイオ・准教授）、中村達夫（バイオ・准教授）、
 栗原靖之（バイオ・教授）、竹村泰司（電情・教授）、森昌司（九大・工・教授）
 渡邊昌俊（三重大・医・教授）、竹歳絢子（化学・助教）、
 田中 美香子（化学・助手）、Montserrat Rivas（オビエド大学・教授）

研究概要：最先端技術開発とイノベーション



これまでの成果例

外部資金

科研費：

基盤 (A) 代表 2020-23 (一柳)
 基盤 (A) 代表 2024-26 (吉川)
 基盤 (S) 代表 2019-23 (吉川)
 基盤 (B) 代表 2025-27 (一柳)
 基盤 (C) 代表 2023-25 (田中)
 ほかも多数

その他の助成金：

・日本医療開発機構 (AMED) シーズH
 代表 2023-24 (一柳)
 ・高業経済研究財助成 代表 2025
 (一柳)
 ほかも多数

国際会議開催

・ICFPM2022 (磁性微粒子国際会議)
 横浜シンポジウム 主催 (一柳)
 ・日台ナノメディシン国際シンポジウム開催 横浜国立大学 2025 (一柳)
 ・MRM2025 シンポジウム H-2主催
 パシフィコ横浜 (一柳)
 ほかも多数

受賞

・熱測定学会学会賞
 2024 (一柳)
 ・Van Duzer Prize
 Award 2024 (吉川)

国際規格の検討

・IEEE Magnetics Technical Subcommitteeの設立に貢献し磁気微粒子に関する世界標準を検討

女性Workshop開催

・IEEE Women in Magnetism Co-chairとして女性研究者向けworkshopを開催した 2023, 2024

国際ネットワークハブ

- ・学生も含めた国際交流
- ・共著論文作成
- ・2国間助成金申請等
- ・Springer Book編集集中

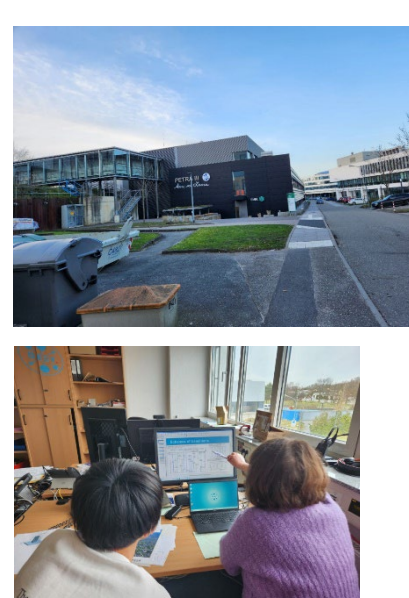
ICFPM2022国際会議主催



Duisburg大学



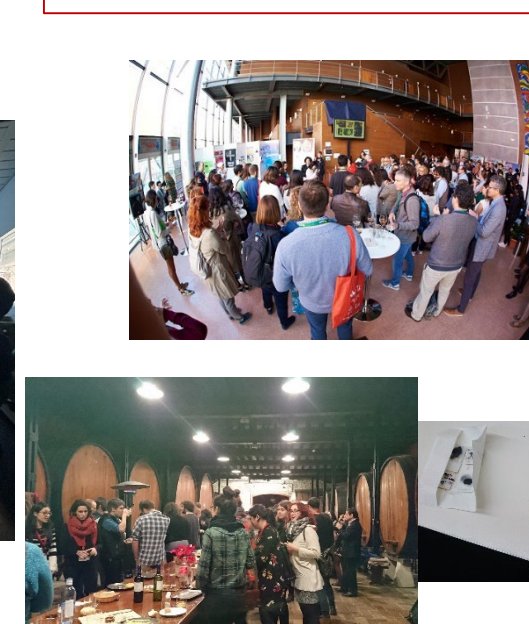
DESY (ドイツ・シンクロトロン)



PTB (連邦物理技術研究所・ベルリン)



オビエド大学



ウクライナ女性研究者と女子学生のシンポジウム@YNU



拠点の活動がもたらす10年後の未来

- ・治療と診断が同時に行えるセラノスティクス応用が実装される。
- ・横浜がナノ・セラノスティクス国際拠点となる。
- ・次世代へ受けつがれるサステナビリティの潮流を確立する。

YNU拠点 日本拠点
物理工学・化学+バイオ

海外グループ

次世代グループ

Women in Science

国際交流の活性化

